

# 新居浜市地球高温化対策地域協議会 平成25年度総会事例発表

## 『コンポストがある小さな循環いい暮らし』



日 時： 6月30日（日）14：30～15：00

場 所： 新居浜市民文化センター中ホール

参加者： 200名

NPO法人循環生活研究所 事務局長

講 師： たいら 由以子

### <講師紹介>

平成16年、福岡市で、「地域で生活に必要なものが楽しく循環するための暮らし」というコンセプトを掲げ、「NPO法人循環生活研究所」（略称：「循生研」じゅんなまけん）を発足。生ごみや庭から出る有機物をごみとして出さずに「循環させる技術」「堆肥づくりの楽しさ」を普及する活動を進めており、中でもダンボールコンポストの普及、地域でリーダーとなってダンボールコンポストを教えるアドバイザー人材育成・支援事業活動に、日本全国、世界へと活動を広めています。



ごみ減量の為、コンポストで堆肥化する人口が急増しています。

ダンボールコンポストでの堆肥作りは「初心者向き」  
水分・酸素・栄養のバランスを取って虫よけを上手に行えば大丈夫！  
臭いも比較的出ません。

貝殻以外ならなんでも入れてOK。  
微生物は甘い物が好物！

ダンボールコンポストで作った堆肥を地元農家に提供しています。安心して食べられる地元野菜の栄養となり、できた野菜は地元商店やレストランなどで味わうことができます。地元の資源循環が安全な食に繋がりがいい土づくりはその土地で根付き、次世代へ残すことができます。

こうした循環の仕組みを、自分たちの地域で行うことがとても大切です。





コンポストも継続できなければ意味がありません。  
各地域で身近に相談できるような、アドバイザー的人材を育てていくことが課題。

生ごみの減少のための堆肥化推進は、地球高温化を防ぐ「いい暮らし」に必ず繋がっているのです。

### 事例発表の感想(抜粋)

- ・コンポストの取組自体は各家庭でできる小さな活動ですが、それから発展して、土の癒しによる心理面にも、そこで作られる食物にも、環境面にも大きな力となることがわかりました。先生の語り口調がソフトで聞きやすく、もっと聞きたかったです。
- ・堆肥の作り方を具体的に知りたくなりましたし、ダンボールコンポストにチャレンジしてみたいと思いました。
- ・具体的な実践例の話で分かりやすかったです。
- ・ダンボールコンポストの勉強をしてみたいです。野菜を無農薬で作りたいので頑張りたい。土地を肥やさないと良い作物はできません。
- ・ダンボールでコンポストができることを初めて知りました。これが利用できると素晴らしいと思います。
- ・何でもダンボールコンポストに入れてはいけないことにびっくり！ただ土にミミズでも入れていっぱい食べ残しが2・3日で堆肥になるのかと思っていました。
- ・土に親しむこと、面白くて優しいことがよくわかりました。循環型農業は今後必要だと思います。
- ・身近で簡単なことが意外な人間生活の改善に続いていく。循環の輪の素晴らしさがよくわかりました。
- ・人任せにするのではなく、個人が意識を変えて取り組むことで小さな力が大きな力になっていくことを改めて思いました。まずは実行に移すことが大事ですね。



